



あいかわ 議会だより

第 149 号

責任者 議会議長 小島 総一郎
年4回発行・本号20ページ



※昨年の農林まつりの様子

各会計新年度予算を可決

P 2

町立体育施設条例など16条例を可決

P 2

町政を問う 一般質問に13人登壇

P 8

※議会だよりで使用する写真を募集しています。応募要領は14ページをご覧ください。

平成28年5月15日 〈3月第1回定例会〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>

平成28年第1回愛川町議会「3月定例会」は、2月29日から会期26日間（本会議開催日6日間）にわたり開催されました。

この定例会では、条例の制定及び一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算、各児童館の指定管理者の指定など、合計で53件の町長提出議案を審議し、全議案を可決しました。

また、陳情3件の審議をするともに、議員提出議案1件を可決しました。本号ではこれら「3月定例会」の内容を中心にお知らせします。

総額241億5千400万円 平成28年度当初予算可決

- 一般会計予算
 - 国民健康保険特別会計予算（以上賛成全員）
 - 後期高齢者医療特別会計予算
 - （賛成12人、反対3人）
 - 介護保険特別会計予算
 - 下水道事業特別会計予算
 - 水道事業会計予算（以上賛成全員）
- ※議長は表決に含まず。

《各会計予算額》

会 計 名		予 算 額	構成比	前年度比
一 般 会 計		123億 800万円	50.9%	4.8%
特別会計	国民健康保険	63億8,900万円	26.5%	△1.6%
	後期高齢者医療	4億 500万円	1.7%	10.1%
	介護保険	27億3,300万円	11.3%	7.3%
	下水道事業	13億5,700万円	5.6%	1.0%
	小 計	108億8,400万円	45.1%	1.2%
企業会計	水道事業	9億6,200万円	4.0%	△16.1%
合 計		241億5,400万円	100.0%	2.2%

3月 定例会

平成28年 第1回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
2	29	月	本 会 議	町長施政方針演説・提出議案の説明
3	1	火	本 会 議	一般質問(6人)
	2	水	本 会 議	一般質問(7人)
	7	月	本 会 議	補正予算・事件関係議案の個人総括質疑・討論・採決
	9	水	本 会 議	施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問、委員会分割付託の決定
	10	木	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の補足説明・現地調査
	11	金	総務建設常任委員会	付託案件の現地調査
	14	月	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	16	水	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	17	木	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	18	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	25	金	本 会 議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決、議員提出議案の説明・質疑・討論・採決

条例制定・改正

◎愛川町職員の退職管理に関する条例の制定（賛成全員）

「地方公務員法」の一部が改正され、退職管理の適正の確保を図るため

退職後に営利企業等に再就職をした元職員が行う現職職員に対する職務上の働きかけを規制する規定が整備されたことに伴い、職員の退職管理に關し必要な事項を定める条例を可決したものです。

施行期日は平成28年

4月1日

◎愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定（賛成全員）

町の魅力を町内外に積極的かつ効果的に発信するため、プロモーション活動に關して専門的な知識経験を有する人材を、任期付職員として採用することを予定しており、その採用等の根拠となる

◎愛川町職員の給与に関する条例の一部改正（賛成全員）

昨年的人事院勧告では、国家公務員給与が民間給与と0.36%下回っており、この格差を是正するとともに、民間の支給割合との均衡を図るため、期末勤勉手当を0.1月分引き上げ、年間4.2月分とするものです。国では、人事院勧告どおり実施するとしてところであり、人事院勧告や国家公務員の給与改定に準拠し、給与制度の総合的見直しと合わせて町職員の給与を改定する一部改正条例を可決したものです。

施行期日は公布の日

◎愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正
(賛成12人、反対3人)
一般職給与条例の一部改正に伴い、人事院勧告を踏まえ、一般職と同様に町長、副町長、教育長の常勤特別職3名の給与に関する所要の改正を行う一部改正条例を可決し

たものです。
施行期日は公布の日
◎愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 (賛成全員)
「地方公務員法」の一部が改正され、本条例で引用している条項について、所要の改正を行うとともに「任期付短時間勤務職員」の勤務時間につ

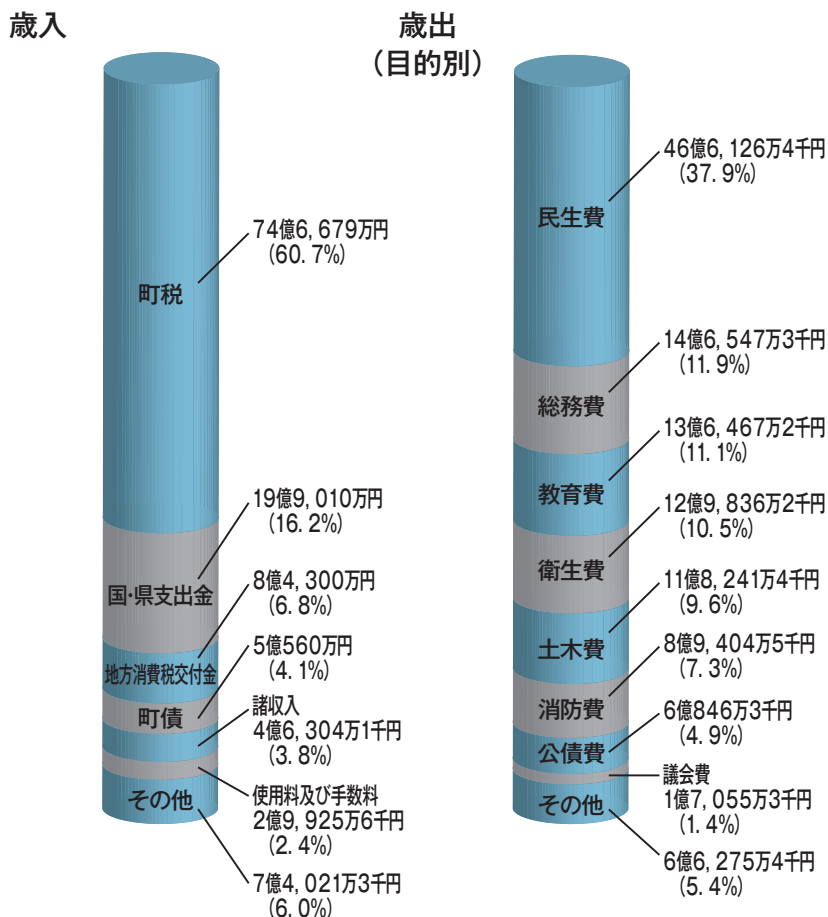
いて定めた一部改正条例を可決したものです。
施行期日は平成28年4月1日
◎愛川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部改正 (賛成全員)
「地方公務員法」の一部が改正されたことに伴い、本条例で規定してい

る各任命権者が町長に報告する事項について、「職員の人事評価の状況」を加えるなど、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。
施行期日は平成28年4月1日
◎愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正 (賛成全員)
「地方公務員災害補償法施行令」の一部が改正されたことに伴い、「傷病補償年金」及び「休業補償」について、同一の事由により厚生年金法による障害厚生年金等が併給される場合の調整率が変わったことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。
施行期日は平成28年4月1日

◎愛川町情報公開条例等の一部改正 (賛成全員)
「行政不服審査法」の全面改正により、従来の「異議申立て」が廃止され、「審査請求」に一元

利用の最適化を推進する「農地利用最適化推進委員」が新設されたことから、新たに農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を規定する条例を可決したものです。
施行期日は平成28年4月1日
◎愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (賛成全員)
新たに非常勤職員の職を設ける「農地利用最適化推進委員」及び改正行政不服審査法に関連する「法務嘱託職員」について、それぞれの報酬を定める改正を行う一部改正条例を可決したものです。
施行期日は平成28年4月1日

新年度一般会計予算の構成



◎愛川町国民健康保険税
条例及び愛川町介護保険
条例の一部改正
(賛成全員)

「地方税法」の一部が
改正されたことに伴い、
国民健康保険税等の減免
申請期限について、所要
の改正を行う一部改正条
例を可決したものです。
施行期日は平成28年4
月1日

◎愛川町立体育施設条例
の一部改正 (賛成全員)

「愛川町坂本プール」
は老朽化が進み、施設を
廃止するため、本条例か
ら削除する一部改正条例
を可決したものです。
施行期日は平成28年4
月1日

◎愛川町企業誘致等に関
する条例の一部改正
(賛成全員)

産業振興と雇用機会の
拡大を図るため、奨励措
置の適用要件の見直しな
ど、所要の改正を行う一
部改正条例を可決したも
のです。
施行期日は公布の日

◎愛川町消防団員等公務
災害補償条例の一部改正
(賛成全員)

「非常勤消防団員等に
係る損害補償の基準を定
める政令」の一部が改正
され、傷病補償年金等に
ついて、同一の事由によ
り障害厚生年金等が併給
される場合の調整率の変
更を行うなど所要の改正
を行う一部改正条例を可
決したものです。
施行期日は平成28年4
月1日

◎愛川町火災予防条例の
一部改正 (賛成全員)

「対象火気設備等の位
置、構造及び管理並びに
対象火気器具等の取扱い
に関する条例の制定に関
する基準を定める省令」
の一部が改正され、制定
当初に想定していなかつ
た設備などが流通してき
たことから、所要の改正
を行う一部改正条例を可
決したものです。
施行期日は平成28年4
月1日

補正予算

◎平成27年度一般会計補
正予算(第3号、第4号)
(賛成全員)

各種事業の予定額が確
定したことから、歳入歳
出のそれぞれ3億8千5
82万6千円を増額し総
額を122億2千996
万5千円としたものです。
◎平成27年度国民健康保
険特別会計補正予算(第
2号、第3号)

◎平成27年度後期高齢者
医療特別会計補正予算
(第2号、第3号)

◎平成27年度介護保険特
別会計補正予算(第2号、
第3号)

◎平成27年度下水道事業
特別会計補正予算(第3
号、第4号)

◎平成27年度水道事業会
計補正予算(第1号)
(以上賛成全員)

事件関係

◎行政不服審査会の事務
の委託 (賛成全員)

「行政不服審査法」の

議員提出議案

改正に伴い手続き等の適
正性をチェックする「第
三者機関」を導入するに
あたり、審査事務を神奈
川県に委託するものにつ
いて可決しました。
◎各児童館の指定管理者
の指定 (賛成全員)

町内の児童館(18児童
館)について各行政区の
区長を指定管理者として
指定しました。
◎町道路線の認定及び廃
止 (賛成全員)

今回は、1路線の廃止
及び1路線の認定を可決
しました。

◎愛川町議会議員の議員
報酬、費用弁償及び期末
手当に関する条例の一部
改正
(賛成12人、反対3人)

人事院勧告を踏まえ、
一般職員及び常勤特別職
の給与改正と同様に議会
議員の期末手当について
所用の改正を行う一部改
正条例を可決しました。
施行期日は公布の日

請願・陳情のゆくえ

件名	審査結果	陳情者
陳情第1号 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	不採択	大阪府東大阪市六万寺町3-12-33 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子
陳情第2号 平成28年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	趣旨了承	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人神奈川県腎友会 会長 前田 好夫
陳情第3号 平成28年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	趣旨了承	横浜市神奈川区台町1-8 ウェイサイドビル504号 特定非営利活動法人神奈川県腎友会 会長 前田 好夫
陳情第4号 国に対して「消費税増税を中止する意見書」の提出を求める陳情書	机上配付	横浜市神奈川区神奈川2-19-3 神奈川建設プラザ内 消費税をなくす神奈川の会 代表世話人 増本 一彦
陳情第5号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	机上配付	厚木市元町8-22厚木民商 消費税廃止厚木地区連絡会 代表 佐々木 誠

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 マーケティング推進事業費の詳細について

答 新規事業である町オリジナルデザイン入りの愛川町PR用「宅配便送り状」作成経費については、相模原愛川ICを利用した交通アクセスが一段と向上し複数の大型物流施設が立地するなど、本町が物流拠点の一つとなっていることから、こうした物流ネットワークを活用し、知名度を高めるため、宅配便事業者と協働し、宅配便の配達伝票である送り状を作成するためのものです。

また、本町の魅力を発信することを目的に作成した、シテイセールスパンフレット「愛川町ってドコ？」の増刷をするものです。

問 公共施設等総合管理計画策定事業の詳細について

答 公共施設の老朽化、人口減少等による利用需要の変化に対応するため「公共施設等総合管理計画」の策定を平成27・28年度の2箇年で進めているところであり、平成27年度は、各施設の現状を客観的に分析した「公共施設白書」を作成しました。平成28年度は、この「公共施設白書」に基づき、長期的な財務シミュレーションを加味した、施設の「更新・統廃合・長寿命化」などの基本方針を定め、「公共施設等総合管理計画」として、来年3月末に完成する予定です。

問 不法投棄の状況について

答 不法投棄されている主な品目は、自動車のタイヤ、布団衣類、自転車、家具類や家電製品などのほか、依然として建築廃材のような産業廃棄物の不法投棄も後を絶たない

状況です。

また、不法投棄されて

いる主な場所は、交通量の少ない林道沿いの山林や河原の草むらなど、人目につきにくい場所に投棄されているのが現状です。

なお、撤去量につきましては、平成25年度が約32トン、平成26年度が約29トンと減少傾向となっていることから、不法投棄防止対策の継続実施により、一定の効果は得られているものと考えています。

町営平山住宅を調査



教育民生常任委員会

問 臨時保育士等の人数と充足状況について

答 3月1日現在では、6園合計で82名の臨時保育士を雇用しており、充足状況は、入所園児数に応じた配置が出来ていることから、6園すべてで充足しているところですが、臨時保育士82名のうち退職などにより今月末をもって3名の臨時保育士が不足してしまう恐れがある状況です。

このため、「お茶の間通信」に臨時保育士募集の記事を掲載するほか、ハローワークなどに求人の依頼を行い、臨時保育士の確保に努めているところと

問 防犯灯維持管理経費の詳細について

答 防犯灯は、夜間における犯罪の未然防止や生活環境向上のため、町内全域に設置しています。しかしながら、近年は電気料金の値上がりや防

愛川聖苑を調査



犯灯の経年劣化による器具交換などにより、維持

問 宮本児童館建設事業の詳細について

答 現在の宮本児童館は、昭和46年度に建設された町内では最も古い児童館であり老朽化が著しいため、既存の児童館を取り壊し、同敷地内に新児童館を建設するものです。

施設については、平成27年度に実施設計を行っており、鉄骨造平屋建、延床面積200㎡(60坪)で、事務室兼図書室、プレイルーム、和室、厨房みんなのトイレなどを設置する計画です。

会派 議決一覧表（平成28年第1回定例会）

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 小倉議員 馬場議員 山中議員 熊坂弘久議員	公明 (3人) 井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	みらい絆 (3人) 熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	共産 (3人) 小林議員 井上議員 鈴木議員	新風あいかわ (3人) 渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員	議決結果
議員提出 第1号	愛川町議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第1号	愛川町職員の退職管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第2号	愛川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第3号	愛川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第4号	愛川町長等常勤の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第5号	愛川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第6号	愛川町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第7号	愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第8号	愛川町情報公開条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第9号	愛川町農業委員会委員及び愛川町農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第10号	愛川町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第11号	愛川町国民健康保険税条例及び愛川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第12号	愛川町立体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第13号	愛川町企業誘致等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第14号	愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第15号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第16号	平成27年度愛川町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第17号	平成27年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第18号	平成27年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第19号	平成27年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第20号	平成27年度愛川町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第21号	平成28年度愛川町一般会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第22号	平成28年度愛川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第23号	平成28年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第24号	平成28年度愛川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第25号	平成28年度愛川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第26号	平成28年度愛川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第27号	行政不服審査会の事務の委託について	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第28号	指定管理者の指定について（川北児童館）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第29号	指定管理者の指定について（宮本児童館）	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第30号	指定管理者の指定について（原白児童館）	○	○	○	○	○	可決

議案番号	議 案 の 件 名	愛 政 (4人) 小倉議員 馬場議員 山中議員 熊坂弘久議員	公明 (3人) 井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	みらい絆 (3人) 熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	共 産 (3人) 小林議員 井上議員 鈴木議員	新風あいかわ (3人) 渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員	議決結果
町長提出 第31号	指定管理者の指定について（両向児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第32号	指定管理者の指定について（細野児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第33号	指定管理者の指定について（田代児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第34号	指定管理者の指定について（角田児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第35号	指定管理者の指定について（三増児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第36号	指定管理者の指定について（小沢児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第37号	指定管理者の指定について（上熊坂児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第38号	指定管理者の指定について（熊坂児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第39号	指定管理者の指定について（下谷八菅山児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第40号	指定管理者の指定について（二井坂児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第41号	指定管理者の指定について（桜台児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第42号	指定管理者の指定について（坂本児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第43号	指定管理者の指定について（六倉児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第44号	指定管理者の指定について（大塚児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第45号	指定管理者の指定について（春日台児童館）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第46号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第47号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第48号	平成27年度愛川町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第49号	平成27年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第50号	平成27年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第51号	平成27年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第52号	平成27年度愛川町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	可 決
町長提出 第53号	平成27年度愛川町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可 決
陳 情 第 1 号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	●	○	●	○	●	不採択
陳 情 第 2 号	平成28年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情	○	○	○	●	○	趣旨了承
陳 情 第 3 号	平成28年度における重度障害者医療費助成制度継続についての陳情	○	○	○	●	○	趣旨了承

※陳情第2号及び第3号は、委員長報告「趣旨了承」に対する賛否です。



ライブ・録画中継

町議会では、町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っています。

視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

なお、録画中継の視聴可能期間は、ライブ中継終了後、概ね3日後から約3年間となります。

【ホームページアドレス】
<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly>

こいは どづなるの

一般質問

町長 半原地域の観光拠点づくりに主眼を置き、地域活性化を図る方策を総体的に検討するための構想案づくり関係経費を平成28年度予算に計上しました。

半原地域の活性化 経費を予算に計上

問 昨年6月議会で横須賀水源地の跡地の活用について、観光振興拠点として有効に活用すべきであろうと提案、要請をしてきたところですが、今後の取り組みについて伺います。

横須賀水源の跡地 観光拠点に活用

井上 博明議員



町長 消防団員の処遇改善、活動環境の整備、福利厚生の実を推進するため、関係団体の意見をいただき、消防団員の安定的確保、消防体制の充実強化を図られるよう努力していきたいと考えています。

関係団体と意見調整 安定的充実に努力

問 平成24年3月議会、26年12月議会で、消防団員の証明書を提示することで町内商店での割引買物ができる制度の導入、また、団員に商品券を交付して買物ができるようにと提案をしてきたところですが、町長の考えを伺います。

消防団員の確保策 優遇制度の導入



町長 情報誌の横浜ウォーカーやタウンニュースに記事を掲載し、ポスターを海老名SAなどに配架しています。いろいろな提案の中から有効なものについては前向きに検討したいと考えています。

情報誌に記事掲載 ポスターをSAに

問 愛川ブランド認定後のPR活動について伺います。
また、綾瀬市では東名高速道路の橋桁に横断幕などを張っています。町も検討願います。

愛川ブランド認定 今後のPR活動

山中 正樹議員



町長 現役世代の減少に伴い、我が国の社会保障制度に影響が及ぶと懸念

75歳以上は1.6倍 支援困難な事例増

問 団塊の世代の方が後期高齢者となる時期が目に見えてきました。本町の2025年問題について考えを伺います。
第6期高齢者保健福祉・介護事業計画に盛り込まれているサービス付き高齢者向け住宅の実績と今後について伺います。

本町の2025年問題

され、様々な課題がある
と認識しています。
本町でも、2025年の高齢化率は31.3%に達し、75歳以上の方は現在の約1.6倍に増え、生活支援が困難な事例が年々増加すると見込まれています。
高齢介護課長 サービス付き高齢者向け住宅は平成29年3月の開設を目指して募集をかけたが、結果的に応募はありませんでした。
時期を見て再度募集を行いたいと考えています。



愛川ブランドポスター

町長 現在、国から示されている内容を踏まえ、まず、町負担分が2分の1であることに加え、地域再生計画の認定が必要であることなど、非常に高い条件設定となること、が予想されますが、国の予算成立後、申請要件や申請スケジュールなど詳細な内容が明らかになった段階で、速やかに対応します。

詳細内容が判明後 速やかに対応検討

問 地方版総合戦略が策定されましたが、新型交付金を活用する先駆的な取り組みについて伺います。

地方版総合戦略 新型交付金の活用



渡辺 基議員

教育次長 近隣の駅伝大会で、速やかに対応します。

多額の費用必要 当面は考えなし

問 町一周駅伝競走大会は、会運営の円滑化のために計測方法についてICチップなどの計測システムを導入する考えについて伺います。

「町一周駅伝競走大会」 計測システムの導入



町一周駅伝競走大会

町長 ICチップを導入しているところは、中継所が1箇所、ないし2箇所の周回コースであり、本町のように中継所が6箇所あるロードのコースの場合、毎回300万円ほどの経費が必要になるため、導入については今のところ考えていません。

町長 平成24年7月から役場庁舎や小中学校9校、第一号公園や田代運動公園などの14施設に導入してきましたが、本年1月、新たに愛川聖苑や美化プラント、文化会館などの6施設を合わせ、20施設と契約しました。

新たに6施設契約 年間二千七百万円

問 電力料金の削減対策として、以前からPPSの導入を強く要請してきましたが、削減効果と残り11施設の進捗状況を伺います。

電力料の削減対策 進捗状況と効果



小倉 英嗣議員

町長 昨年11月に県内3番目の「道の駅」が清川村にオープンしました。相模原市や茅ヶ崎市、南足柄市でも建設に向けて取り組んでいます。本町でも建設を検討しているのか伺います。

「道の駅」建設に向けた考え

管財契約課長 削減効果については、20施設で年間2,700万円削減できると見込みです。

観光拠点構想の中 物産館の調査検討

問 昨年11月に県内3番目の「道の駅」が清川村にオープンしました。相模原市や茅ヶ崎市、南足柄市でも建設に向けて取り組んでいます。本町でも建設を検討しているのか伺います。

町長 物産品の販売施設など行楽客を誘導するための核となる観光施設は必要と考えています。半原地域の観光拠点構想づくりを進めていく中で道の駅のような機能も踏まえた物産館施設等の整備について、調査・検討を進めていくことになると考えています。



昨年オープンした道の駅「清川」



消防団員の制服 復活する考えは

馬場 司議員

問 消防団員制服の復活について考えを伺います。

装備等の充実図り 環境整備に努める

町長 制服のあり方について、消防団で協議検討した結果、平成24年度から制服の着用を部長以上の団員に限定しています。現在、班長以下の制服貸与は考えていませんが、装備などの充実を図りながら、消防団の環境整備に努めたいと考えています。

水道事業所の民間活用

問 水道事業所の民間の活用について考えを伺います。

経営基盤強化が課題 調査・研究を進める

町長 民間活用手法としては、包括的委託やPFI方式などがあります。包括的委託については、全国的にも導入が進んでおり、県内では、南足柄市などが導入しています。



消防団員の制服

また、PFI方式については、大規模な事業体において、浄水場の一部などの附帯的な施設整備に導入しているようです。町の水道事業にとっても、経営基盤の強化は重要な課題であることから、他市町村の導入実績、費用対効果などを十分見極め、民間活用の導入について調査・研究を進めていきたいと考えています。

愛川聖苑親族控室 テーブル等設置を

木下 眞樹子議員

問 愛川聖苑の利用について、高齢化が進む中、通夜や告別式に出席する親族控室を土足可能なフラットな床に改修し、テーブルと椅子を設置する考えについて伺います。

必要性は十分認識 前向きに検討する

町長 近親者の中には高齢の方が占める割合も高くなり、施設のバリアフリー化の必要性は十分に認識しています。構造的に大規模改修はなかなか難しいところですが、こうした時代背景

社会福祉協議会の役割

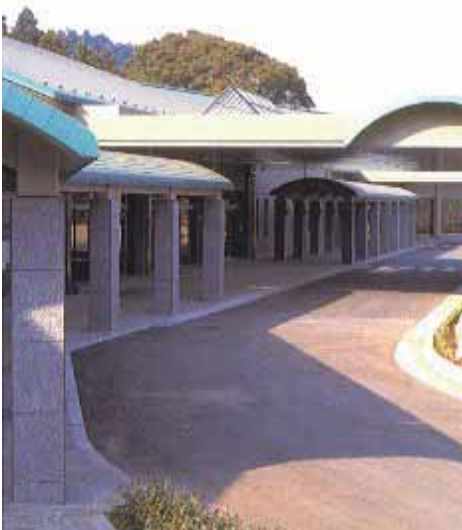
問 社会福祉協議会が果たすべき役割について、考えを伺います。

住民相互の協働 地域福祉を推進

町長 社会福祉協議会では、住民相互の協働に関わる仕組みづくりを進めるとともに、地域社会共通の問題解決に向けた活動のほか、住民参加型の

の中で必要性は感じていますが、利用者の皆様の声を聴きながら、前向きに検討していききたいと考えています。

ホームヘルプサービスやボランティア活動などの事業を実施されています。町としても社会福祉協議会の様々な活動に対し側面から支援を行い公益性・公共性の高い団体として、地域福祉の推進を担っていただき、手を携えながら、町・社協が一体となり福祉の町づくりを進めていきたいと考えています。



愛川聖苑

町長 被保険者数が多い世帯の負担を緩和する目的で、平等割(※1)という区分を設けています。また、世帯所得が一定額以下の場合、均等割(※2)と平等割の軽減措置を講じており、更なる減免は難しいと考えます。

更なる負担の緩和 減免は難しい

国民健康保険税の解説

- (※1) 平等割とは・・・1世帯ごとに課せられるもの
- (※2) 均等割とは・・・世帯の国民健康保険加入者数に応じて課せられるもの



愛川北部病院

問 国保税算出で収入がない子どもたちへ均等割を課すことは問題です。軽減対策をとるべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

国民健康保険税 均等割の軽減対策



小林 敬子議員

財政面で課題あり 北部病院には要請

町長 眼科開設に当たっては、高度で精密な医療機器が必要であり、その

問 もう一箇所の眼科の開設について、町が本腰を入れて取り組むべきだと思います。町長の考えを伺います。

費用は3億円以上にもなるといった財政面での課題が全国的にもあります。こうした中、町では愛川北部病院に対して要請を続けていますが、病院側では、現時点では経営安定化を第一ということなので、その後、要請に応えていきたいとの回答をいただいています。

眼科の開設について

町長 地元企業等に打診をしましたが、知名度などの低さの面で色好い返事がいただけませんでした。自主財源確保のためには有効な手段との認識はありますが、今後も研究する課題と考えています。

新財源確保に有効 今後も研究課題に

問 町税収が減り、歳出の増大が懸念されるなか充実した行政サービスを実施するためには新たな自主財源の創出が望まれます。ネーミングライツの導入についてお伺いします。

税収減のなか ネーミングライツ



阿部 隆之議員

問 地域包括ケアシステムは高齢者が可能な限り住み慣れた自宅で自立した生活を営めるよう包括的な支援サービスを提供する体制です。自立した生活のための高齢者福祉サービスの拡充についてお伺いします。

高齢者利用可能な 福祉サービス拡充

町長 今後2025年を見据え、地域包括ケアシステムの構築を進め、そ

の構成要素の一つである生活支援・介護予防サービスの充実強化を行い、高齢者が多様なサービスを利用できる地域づくりを進めるとともに、日頃から先進自治体で取り組んでおります福祉サービスの調査研究をして、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう、町における高齢者福祉サービスの拡充に努めていきたいと考えています。

地域包括ケアシステム





引きこもり対策 抱える親が高齢化

佐藤 りえ議員

問

引きこもりを抱える親が既に高齢化しており、年齢が高くなるほど、家庭の負担は重くなり、支援が難しくなっています。本町の引きこもり対策について伺います。

問

緊急時に提示して、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするヘルプカード。平成26年3月議会で普及を提案した際、県や近隣市町村と情報交換を行いたいとの町長答弁でした。その後の進捗状況を伺います。

ヘルプカードの進捗状況

**形態・内容等含め
前向きに検討する**
町長 ヘルプカードの普及推進が広域的に展開さ

れることが望ましいものと考えていますが、情報交換を行なった中では、それぞれの自治体における経過や実状によって独自の方法で取り組んでいる状況です。
今後、町としてはカードの形式、掲載する内容、名称などを含め、障害者協議会などでご意見を伺いながら、前向きに検討していきたいと考えています。



生活習慣病の予防 今後の取り組み

岸上 敦子議員

問

生活習慣病の予防促進について、健康診断受診率向上に向けた今後の取り組みについて伺います。

問

マイナンバー制度の施行に伴い、コンビニにおける各種証明書の交付を導入し、利便性の向上に努めるべきだと思いますが、考えを伺います。

「マイナンバー制度」

「コンビニで証明書交付」

奨を推進するインパクトのある方策を考えていきたいと思っています。

財政状況厳しい

制度周知に努める

町長 町で導入する場合、導入経費、負担金や保守経費がかかると見込まれます。財政状況が厳しい中、課題もあり、加えて町としては、まずはコンビニ交付サービスを導入する上での前提となる個人番号カードの普及率向上のために、制度の周知に努めてまいりたいと考えています。

本年度は上回る 更なる受診勧奨を

町長 本年度は特定健診未受診の方を対象に受診勧奨ハガキを配布したところ、前年度の受診率を上回っています。

今後は受診率の低い40歳代の皆さんに多く受診していただけるよう、より効果的なデザインや勧

心の健康相談実施 内容で受診を勧奨

町長 町では、心の健康相談として、保健師や精神保健福祉士による電話面接、訪問による相談を実施しており、その相談内容によっては専門の医療機関への受診を勧奨しております。



下記に連絡してください。

私の名前
(ア)連絡先の電話
連絡先名(会社・機関等の場合)
呼んでほしい人の名前
(イ)連絡先の電話
連絡先名(会社・機関等の場合)
呼んでほしい人の名前

ヘルプカードの例



マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

**各種施策の実現
成熟化に向け推進**

町長 20年後を見据えた夢の持てるビジョンとして、新たな施策を盛り込んでいます。総合計画との整合を図りながら、マスタープランに定められた各種施策の実現に向けて、調査・研究を進め、成熟化に向けたまちづく

教育長 新年度に対する抱負ですが、1つ目は学力の向上です。基礎的、基本的な知識や技能等の確かな学力を持つことが大切であると考えています。

2つ目は、豊かな人間性の育成です。

規範意識や生命の尊重、他人への思いやりなど、道徳心を養う教育も必要



上空から見た愛川町

**当面は現在的方式
提言として伺う**

町長 今後、この方式を続けていく中で町の財政状況、保護者のご意見、学校現場の考えを伺いながら必要が生じたときには皆さんに議論していくということ、一つの提言として伺います。

問 個別支援計画に基づいて実際に避難訓練を実施する必要があるのか伺います。

**実効性を高める為
状況に応じ実施検討**

危機管理室長 このたび個別支援計画が完成いたしましたので、実行性を

高めるため、各種訓練の実施の際に活用していきたいと考えています。実施にあたっては、自主防災組織や民生委員さんのご協力を得ながら、より個別の環境や状況に応じた避難誘導訓練となるよう、実施内容等について検討していきたいと考えています。

問 都市マスタープランは、町の未来像を明示したまちづくりの基本的構造整備計画です。改定後の町の取り組みについて伺います。

都市マスタープラン 改定後の取り組み



佐藤 茂議員

問 新教育長として昨年10月に就任され、予算編成も終えた現在、新年度に向けてのいろいろな思いもあるかと思えます。

そこで、新年度に対する教育長の抱負を伺います。

新年度の教育長の抱負

りの推進に努めていききたいと考えています。

であると考えています。

3つ目は、教育環境の充実です。

新年度における新たな取り組みとして、小中学校において9年間を見通した教育課程の編成を図ることにより、学力の向上や中1ギャップの解消を柱とした小中一貫教育を研究、推進していききたいと考えています。

児童生徒数の減少 給食を親子方式へ



鈴木 信一議員

問 児童生徒数が減少している中で、小学校の調理場で中学校給食をつくる親子方式に切り替えることが可能ではないか。町長の考えを伺います。

個別支援計画で訓練を実施



中学校給食



観光客が増加傾向 愛川ブランド活用

熊坂 崇徳議員

問

昨年10月に圏央道が東北道まで繋がりに、観光客が多く神奈川県まで来ております。そこで愛川ブランドの今後の活用について伺います。

魅力を積極的発信 納税返礼品の開始

町長 町では、愛川ブランドとして28品目を認定しその魅力を町内外へ積極的に発信しています。

また、ふるさと納税制度を活用して、本年4月より愛川ブランドを中心とする返礼品の贈呈を開始します。



愛川ブランド認定ロゴマーク

ふるさと納税の進捗状況

問

厳しい財源の中、各種事業を行っていますが新たな財源の確保としてふるさと納税の進捗状況を伺います。

地域資源等を活用

4月から制度導入

町長 町ではこれまで寄附金による財源の確保や

特産品のPRといった観点から、ふるさと納税制度に係る返礼品制度の検討を進めてきたところで

本年4月から、愛川ブランドを中心とする本町の魅力ある産品や地域資源を活用したふるさと納税の返礼品制度の導入をすることにしました。

議会だよりの写真を募集

愛川町議会では、「あ

いかわ議会だより」の表紙や紙面に掲載する写真を募集しています。

町内の風景・風物など

季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。データの場合は、jpg形式で、データ容量は2メガ以上5メガ以下

プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品のテーマ、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント

写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)

【電子メールアドレス】

sikaie@town.aikawaka

nagawa.jp

【郵便送付先住所】

〒243-0392

愛川町角田251-1

愛川町役場議会事務局宛

■注意事項

・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。

・応募作品は、原則として返却しません。

・編集委員会で協議した結果、応募作品を掲載できない場合があります。

・編集上、写真をトリミングする場合があります。

・採用された写真の著作権は、町に帰属します。

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。

・採用者への謝礼はありません。

ご覧ください
ツイッター

町議会では、公式ツイッターを運用しています。様々なお知らせをツイートしますので、是非フォロー登録をお願いします。閲覧・フォロー登録はこちらから。

http://www.town.aikawa.nagawa.jp/assembly/index.html

また、スマートフォンからもご覧になれますので、左記QRコードをご利用ください。



個人総括質疑

3月7日の本会議では、6名の議員が個人総括質疑を行いました。

問 質 代 表 派 会

愛政クラブ

小倉 英嗣 議員

問 住宅用太陽光発電設備設置助成について、平成27年度までの設置数と普及拡大に向けての取り組みについて伺います。

町長 再生可能エネルギーを有効に利用し、環境に対する負荷の軽減を図るために、平成18年度から住宅用太陽光発電設備の設置者に対する補助制度を開始し、本年2月末現在の累計で503基となっています。

普及拡大に向けての取り組みについては、広報紙やホームページでの周知や、環境フェスタなどでPRをしています。売電価格の引き下げや国・県補助制度の廃止などによって、設置件数は平成24年度をピークに減少傾向となっています。

町としては、低炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの普及を促進するために、引き続きPRに努めていきたい

と考えています。



問 移住・定住促進の進め方について伺います。

町長 人口減少社会に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを目指すため、人口ビジョン及び総合戦略を策定し、若者、女性、子育て世代の定住や多世代居住の促進を重点に、移住・定住促進に取り組めます。

具体的には、魅力のある制度を記載した移住・定住リーフレットを作成し、内陸工業団地内の企

業などでの配布やプロモーション動画を活用したPR、3世代同居等定住支援事業、空き家の改修・取得費用助成事業、婚活バスツアーなどを行う予定です。

みらい絆

熊坂 崇徳 議員

問 「健康の町宣言」により見込める効果について伺います。

町長 町民みずからが、健康に対する正しい知識を持つて、健康増進のための行動を起こすことができるように、「健康の町宣言」を行うものです。

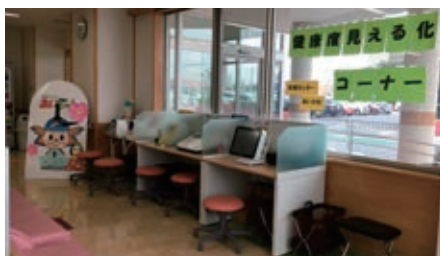
この宣言により見込める効果については、さらなる健康意識の高まりや、健康度の向上に努めているもので、健康体操指導員の養成や、いきいき百歳体操の普及などを進めていきます。

また、健康プラザ内に「健康度見える化コーナー」を設置するなど、健康づくりへの環境整備も

若い世代の皆さんが本町に愛着と魅力を感じていただき、定住・移住をしていただけるような積極的な情報発信と施策の推進に努めていきます。

図つていきます。

さらに、家庭、地域、学校などで、それぞれに合った健康体操を実施していただくなど、町全体の健康度の向上につなげていきたいと考えています。



町健康プラザ内の健康度見える化コーナー

問 出産祝い金支給事業の拡大により見込める効果について伺います。

町長 平成21年度から子育て支援金支給事業を実施し、平成26年度からは第1子からを対象とした出産祝い金支給事業に改め、家計の負担軽減と出生数の向上に期待してきました。

町民アンケート調査においても、経済的負担の軽減を希望する回答が数多くあり、経済的支援の推進は、特にこうした時代の中で重要な課題であることから、少子化対策はもとより多子世帯への支援強化策として、出産祝い金支給事業の支給額を拡大しました。

こうした施策により、出生数がさらに増加をして、人口減少対策の一助として効果が上がっていくことを期待しています。

小林敬子議員

町長 平成28年度は、地方創生に向けた取り組みを本格的に始動する年であり、町総合計画においては、前期基本計画の最終年度である総仕上げの年です。

これまでの「町政の安定化」から、「目に見える形での成果」が求められる段階に入ってくると考えており、安心して子どもを産み育て、老後も安心して暮らせるまちづくりに向けて努力していきたいと考えています。

渡辺基議員

みを伺います。

町長 条例に基づく各種

町長 行政区や自治会はさまざまな分野で重要な役割を担っていただいています。加入世帯数は減少傾向にあり、喫緊の課題となっています。

現在、広報紙による加入啓発や、各行政区でも未加入世帯を訪問するなど、加入促進に取り組んでいます。加入にはつながらないのが実情であり、区長会と各行政区、町の三者が連携協力し、期間を設け、集中して自治会未加入世帯を訪問するなど、自治会への参加を促進していきたいと考えています。

とも工業系用途地域内に遊休化した敷地が生じることのないよう、新たな企業誘致制度の内容を町や県のホームページをはじめ、中小企業庁が運営している事業者向けのホームページにも掲載するほか、毎年県が作成している事業者向けのガイドブックにも掲載するなど幅広いＰＲに努めていきたいと考えています。

問 国民健康保険財政の課題と見直しについて伺います。

町長 国民健康保険事業は、地域における医療の保障と健康の保持増進に重要な役割を果たしています。しかし、医療の高度化などにより、１人当たりの医療費は年々増加をしています。

町の状況は、景気の低迷などにより保険税収入が伸びず、厳しい財政状況にあることから、こう

このような状況は、全国の市町村が抱える問題であるため、国では保険者へ、保険税支援制度の拡充措置が図られました。また、平成30年度からは、県が国保の財政運営の主体となつて、市町村とともに運営をすることになり、財政基盤の強化などを図つていくとされました。

こうした見直しを通じて、県や市町村、関係団体と連携していきたいと考えています。



町長 現在中津川の左岸側に幹線道路が集中しており、幹線道路の交差点付近では慢性的に交通渋滞が発生しています。

こうした状況を改善するため、角田大橋から八菅橋までの幣山下平線を供用開始し、現在、その延伸となる県道54号、平山大橋から角田大橋までの区間の取り組みを進めています。

平成28年度は、角田海底地内の愛宕神社先から愛川通商先までの区間で道路の縦横断図を初め小規模構造物などの詳細設計を実施していきます。

町道を安心して安全に
通行できるように計画的に
整備を行い、快適な道路
環境の向上に努めていき
たいと考えています。

問 小中一貫教育の取り組み方策について伺います。



教育長 本町では、中学校区ごとに先生方が意見交換をするなど小中連携教育を行ってきました。

平成28年度は、各小・中学校と各学校区における検討委員会を立ち上げる検討委員会の作成及び実践に取り組んでいきます。

さらに、平成29年度以降は3つの中学校区で、それぞれの授業計画の作成に生かすとともに、目指す子ども像を共有することで義務教育の9年間を一貫した系統的な教育課程を編成していきたいと考えています。

井出一己議員

討

論

最終日の25日には、5党派等による討論が行われましたので、一部を紹介します。

条例・新年度予算

賛成

(愛政クラブ) 山中正樹 議員

歳入は、個人町民税、法人町民税の減少は憂慮しなければならぬものの、固定資産税の歳入増により、その自由度が保たれていることは、財政の健全性を示す一つの指標となるでしょう。

歳出は、議会費では新規事業として、議員控室修繕経費が計上されています。経費を最大限に生かし、積極的に町民参加を基本とする開かれた議会の実現を目指していくべきと考えます。

総務費はふるさと納税推進事業費が新規設定されました。町の産品をPRするよい方法でもあり、新たな財源確保の手段にもなります。

民生費では、新規事業として年金生活者等支援臨時福祉給付金が設定されました。

また、老人福祉費のうち新規の認知症スクリーニングシステムの導入は、

早期発見や予防のための家族による簡易チェックシステムであり、2025年問題を前にして妥当な経費です。

衛生費は、健康フェスタなどの新規事業がたくさんありますが、費用対効果の面から見ても、妥当な経費です。

また、愛川キエーロの補助が新規事業としてあり、高い効果が期待できるものです。

農林水産業費の青年就



生ごみ処理の効果が期待される「愛川キエーロ」

農給付金については、現在も対象者を見込んでおり、今後の農業の担い手として期待でき、効果の高い事業であると考えます。

商工費では、観光費のうち観光キャラクターあいちちゃん着ぐるみ運用経費について、業務自体を委託する形態に変更することにより、汎用性の高い業務として妥当であると判断しました。

土木費では各地で道路・歩道などの舗装業務が行われますが、現地調査をした結果、適切な工事であると認めます。

賛成

(みらい絆) 木下眞樹子 議員

一般会計の歳出について、総務費は、LED防犯灯の設置をすることで、電気料金や明るさの面で期待します。

防災対策については、いつ災害が起きるか予想がつかないので、常に防災には気をつけ、対策をしていただけることを願います。

民生費は、これから超

高齢化時代に入っていますが、それとともに未来を担う児童福祉にも力を入れていただきますよう要請します。

衛生費は、健康プラザ内に開設される健康度見える化コーナーに力を入れ、町民が健康で長生きができることを願います。

農林水産業費では、これからの農業を担うであ

賛成

(新風あいかわ) 渡辺基 議員

総合計画の6つの柱に沿って討論をさせていたができます。

第1は自然と調和した快適なまちづくりです。

主要幹線道路などの整備については、安全で利便性が高まるよう、さらなる取り組みをお願いします。

第2は安全で安心して暮らせるまちづくりです。

防災対策では、避難所開設中の標識等の取り組みが進んできたことを評価します。さらなる充実を要望します。

第3は健康でゆとりとふれあいのまちづくりです。

待機児童対策では、私立幼稚園との連携を強化し、さらなる町の助成をお願いします。

第4は豊かな人間性を育むまちで、文化のまちづくりです。

小中学校一貫教育推進研修会開催で、教師の認

器更新、橋梁長寿命化補修事業など、耐震性能の向上、安全な施設として必要な事業であり、適切です。

空き家対策推進事業では、空き家の有効利用や人口減少対策、定住促進を進める方策として評価します。

協働のまちづくりの推進では、自治会加入促進強化月間を設け、区長会と連携して自治会加入率の向上を進めていくもので、加入者が増えることを期待します。



LED防犯灯

賛成

(日本共産党) 小林敬子 議員

子育て支援では、保育園の待機児解消に向け、



ろう方々にとって大事な事業費になると考えますので、これからの対策をとっていただきますようお願いします。

商工費では、愛川周遊ツアーについて、婚活支援などもタイアップされ、有効に事業が発展されるよう期待します。

土木費では、道路橋梁総務費など、多岐にわたり投資的経費が増加され評価します。

環境の整備を図っており評価します。

教育費では小中学校へのエアコン設置は、全校一斉に行い、快適な学習環境を整備を図っており評価します。

たことは大変重要な経費だと評価します。

消防費ですが、地域防災の要である消防団員が少なくなっています。行政区と協力した団員の確保をよろしく願います。

健康対策として、がん検診については、大腸がん検診に個別検診の追加をすることで、利便性と受診率の向上が図られるものと評価します。

学校教育では、高校生のバス通学助成について負担額に応じた助成とすることは適切です。

農林業では、新規就農者支援家賃助成金について、昨年から事業である視点は適切ですが、本町で農業をやりたいと移住してきたばかりの方こそ、家賃補助が必要ではないかと考えます。

転入したばかりの方は、家を探すのも大変です。家賃補助の対象を絞った対応を検討されるよう要請します。

防災対策では、田代保育園耐震補強事業や町営住宅耐震診断、火災警報



横須賀水道半原水源跡地

賛成

(公明党) 佐藤りえ 議員

会計予算規模において、

過去最大の予算を確保することができました。守りから攻めの積極的な姿勢を評価します。

総務費では、愛川ブランドが認定されました。町の知名度アップにより、地域産業の活性化が図られることに期待をいたします。

民生費では、高齢者が室内でも気軽に楽しめるスカットボール、地域の老人会でぜひ活用していただきたいことと、子どもとふれあう機会へつながることに期待します。

衛生費では、健康増進のため、健康の町を宣言し、町民総ぐるみで健康への正しい知識を持ち、生き生きとした生活が送られるよう期待します。

農林水産業費では、農地利用状況の調査データ化により、遊休荒廃農地の利用促進と生産性の向上が図られるよう、期待

します。

商工費では、観光客の利便性や観光施設の衛生環境の改善を図るため、

老朽化した固定式の観光トイレを水洗式に建てかえる工事が着手されることを評価します。

土木費では、圏央道の開通に伴い、交通量が増えたことから、交通の円滑化や歩行者の安全確保に努めていただくよう要望します。

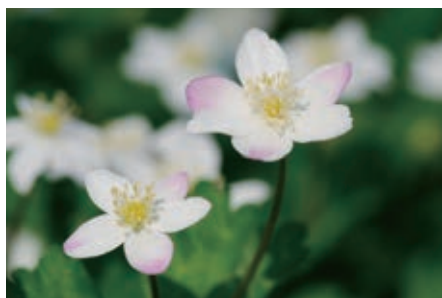
消防費では、救命措置の技術の向上に取り組むことにより、県内でも高い救命率となつていくことを評価します。引き続き、有事に備えていただきたいと思います。

教育費では、小学校3、4年生を対象に、放課後の学習指導を実施する放課後学習あすなろ教室について、学習習慣の定着と学力の向上へつながらよう期待します。

平成28年 熊本地震災害義援金を送りました。

このたびの熊本地震により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈りいたします。町議会では、被災された方々を支援するため、議員全員で協議し、義援金をお送りしました。

義援金総額 二十万円



小田急多摩線延伸に関する 交通政策審議会の答申案が公表されました

かねてから、町議会では、小田急多摩線の延伸により近隣市町村の発展と住民福祉の向上に寄与するため、「小田急多摩線延伸を促進する議員連盟」に加盟し、国土交通大臣や小田急電鉄、神奈川県知事、東京都知事へ要望書を提出するなど、各種活動を行ってきました。

した。

小田急多摩線の延伸は、首都圏西部の発展を支える重要なプロジェクトであり、この度の答申案におきましては、私どもの活動が結実し、その意義を認めていただくこととなりましたが、これはひとえに、国会議員や都議会議員、県議会議員の皆様をはじめ、多くの関係機関の方々のお力添えの賜物であると考えております。この場をお借りし心より御礼を申し上げます。

さて、小田急多摩線を唐木田駅から愛川・厚木方面まで延伸させるためには、まず上溝駅までの整備を実現させなければなりません。この実現に向けては、相模総合補給廠一部返還地のまちづくりを始めとする沿線開発の取組が重要であり、町田市、相模原市にとりま

しては、鉄道整備は経験したことのない一大プロジェクトとなりますが、本議員連盟といたしましては、一日も早い延伸が実現されるよう、最大限の支援をして参りたいと考えております。

また、上溝駅から愛川・厚木方面への延伸については、答申案において、上溝駅までの整備の進捗を踏まえ検討することが適当とされており、延伸の実現を目指し、今後も引き続き、関係機関に積極的に働きかけて参ります。」

「この度、交通政策審議会の答申案が公表されま



小田急多摩線延伸イメージ

町民の声

「私の温故知新」



麻生 光昭 さん

(半原在住)

愛川トンネルを田代方面から抜けてからの中津川沿いは四季が存分に楽しめます。春から秋は都会から来る方も多く、土日の半原バスターミナルにはリュックを背負ったグループが多数訪れます。冬はまさに「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。」のように寒くなります。旧横須賀水源、半原小学校旧校舎、原白の旧街道トンネルな

どは必見です。宮ヶ瀬ダム地域で、芦ノ湖のように釣りができたらと思っています。PTA、愛子連、育成会の活動をしており、子どもの成長には学校と地域や保護者の愛情が欠かせないと思いました。いじめから立ち上がれるように寄り添う勇気を、子ども達には持つてほしいと思います。セーラー服の歌人鳥居

さんの歌です。心とは どこにあるかも知らぬまま 名前をもらう 「心的外傷」時代の変化や荒波は容赦なく家庭を襲います。日本の少子高齢化は特に大事な課題が含まれています。次世代の若者が安心して結婚・子育てできる町になるように議会でもしつかり取り上げてくださるようよろしくお願いします。

新しい春を迎え、輝かしく希望に満ちた門出をされた方も多いと思います。さて、3月定例会は新年度予算などの審議を中心に開催され、一般質問や会派代表質問など活発な議論が展開されました。町議会においても気持ち新たに、住民福祉の向上のため、より積極的な議会運営を推進していきます。今後も町議会へ様々なご意見をお寄せいただきまますようしくお願いします。

編集後記

次回定例会

次回、6月定例会は下表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、5月23日(月)に開催予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成28年 第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
6	1	水	本会議 (提出議案の説明)
	2	木	本会議 (一般質問)
	3	金	本会議 (一般質問)
	7	火	総務建設常任委員会
	8	水	教育民生常任委員会
	14	火	本会議 (総括質疑、討論、採決)

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の要旨を掲載しています。詳細は、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。3月定例会の会議録は、6月中には備え付けができる予定です。なお、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

施設設置録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用に音声テープ化されています。ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

議会事務局人事異動

4月1日付

(新)議会事務局 局長

染矢 敬一

(危機管理室長)

(新)議会事務局 主任主事

佐藤 邦彦

(税務課主任主事)

(旧)企画政策課 副主任

六反 吉和

(議会事務局 主査)

3月31日付 定年退職

内藤 和男

(議会事務局長)

議会だより編集委員会
委員長 馬場 司
副委員長 熊坂 崇徳
委員 阿部 隆之
委員 岸上 敦子
委員 鈴木 信一
委員 山中 正樹